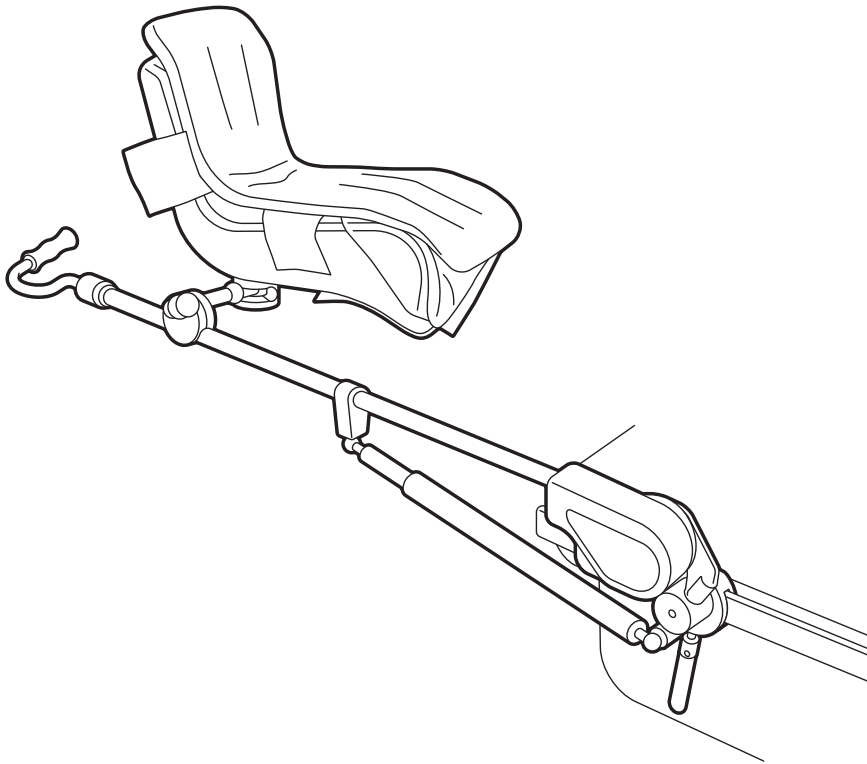


レビテーター 取扱説明書



⚠ レビテーターを使用する者は、この取扱説明書を必ず読んで、内容を理解してから操作を行ってください。

取扱説明書はレビテーターに関わる者の参考のために、適切な収納場所に保管し、必要なときに読めるようにしてください。

レビテーターは弊社（ミズホ株式会社）製手術台に使用可能な仕様です。

1. 使用上の注意事項	2
1-1 はじめに	2
1-2 絵表示について	2
1-3 本品について	2
1-4 安全に使用するために	3
2. 各部の名称とラベル	5
2-1 各部の名称	5
2-2 ラベル	5
3. 操作方法	7
3-1 手術台に取り付ける	7
3-2 手術台から取り外す	9
3-3 患者の脚をセッティングする	10
3-4 手術前・手術中の確認	13
3-5 レビテーターカート（オプション）	15
4. 保守と点検	16
4-1 使用前・使用後の点検	16
4-2 清掃・消毒	16
4-3 アフターサービス	16
4-4 保証について	16
4-5 廃棄について	16
5. 仕様	17
5-1 仕様表	17
5-2 外観図	17






1. 使用上の注意事項

1-1 はじめに

- この取扱説明書はレビテーターを安全に正しく使用していただくためのものです。
この取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解された上で実際にご使用いただきますようお願いいたします。
- 取扱説明書を紛失または損傷した場合は、ご購入店または弊社へお問い合わせください。

1-2 絵表示について

この取扱説明書の表示では、レビテーターを安全に正しくお使いいただき、お客様や患者への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は以下のようになっています。








 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害の発生が想定される内容を示しています。
 禁止	この表示は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
 強制	この表示は、強制(必ずすること)を示しています。
 補足	この表示は、製品の機能について補足事項を示しています。

1-3 本品について





本品は手術台に付属するアクセサリです。碎石位のポジションを要する手術で、患者の脚部を支持する機器として使用します。

商品コード	商品名
08-070-04	レビテーター（2個組）
08-070-09	レビテーターカート
08-070-41	レビテーター用ストラップ
08-070-44	レビテーター共用折れハンドル
08-070-45	レビテーター用一体型パッド 左
08-070-46	レビテーター用一体型パッド 右




1-4 安全に使用するために

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 手術以外での目的で使用しないでください。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 他社製手術台では使用しないでください。他社製手術台での使用可能は確認していません。
 強制	<ul style="list-style-type: none"> ● この取扱説明書の内容を十分に理解してから本品を使用してください。また患者の安全に細心の注意を払い、取扱説明書に従って使用してください。重篤な不具合、有害事象が発現するおそれがあります。
 強制	<ul style="list-style-type: none"> ● 血流障害の防止のため、患者の筋肉または神経に無理な力がかかっているか、必ず手術前および手術中に確認してください。
 強制	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用中は、足背動脈触知・皮膚色・冷感の有無により、血流障害がないことを確認してください。
 強制	<ul style="list-style-type: none"> ● 両脚支持部は左右対称に設定してください。片方がずれていると患者の股関節部に重篤な神経障害や循環障害、血流障害が起きるおそれがあります。 ● ブーツの角度を変えると脚とブーツの接触部の圧も変わるため、ブーツの調整は必ずブーツを持った状態でブーツ調整ハンドルを操作してください。ブーツが急に動いて、患者に重篤な神経障害や循環障害、血流障害が起きるおそれがあります。 ● 開脚角度を広くすると下腿側部に強い圧がかかることがあるため、高さの開脚角度の調整はゆっくりと行ってください。急に動かすと患者に重篤な神経障害や循環障害、血流障害が起きるおそれがあります。 ● 可動部で腓骨神経を圧迫しないように固定してください。下腿の外旋などで腓骨神経障害が起きるおそれがあります。 ● 手術中、下記の状態では必ず上記の4項目を確認してください。長時間の手術では、特に圧迫によるコンパートメント症候群や伸展が原因による神経障害・神経麻痺および褥瘡が起きるおそれがあります。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の脚をセッティングし直す場合 2. 手術が長時間になる場合 3. 支柱を挙上した場合

警告

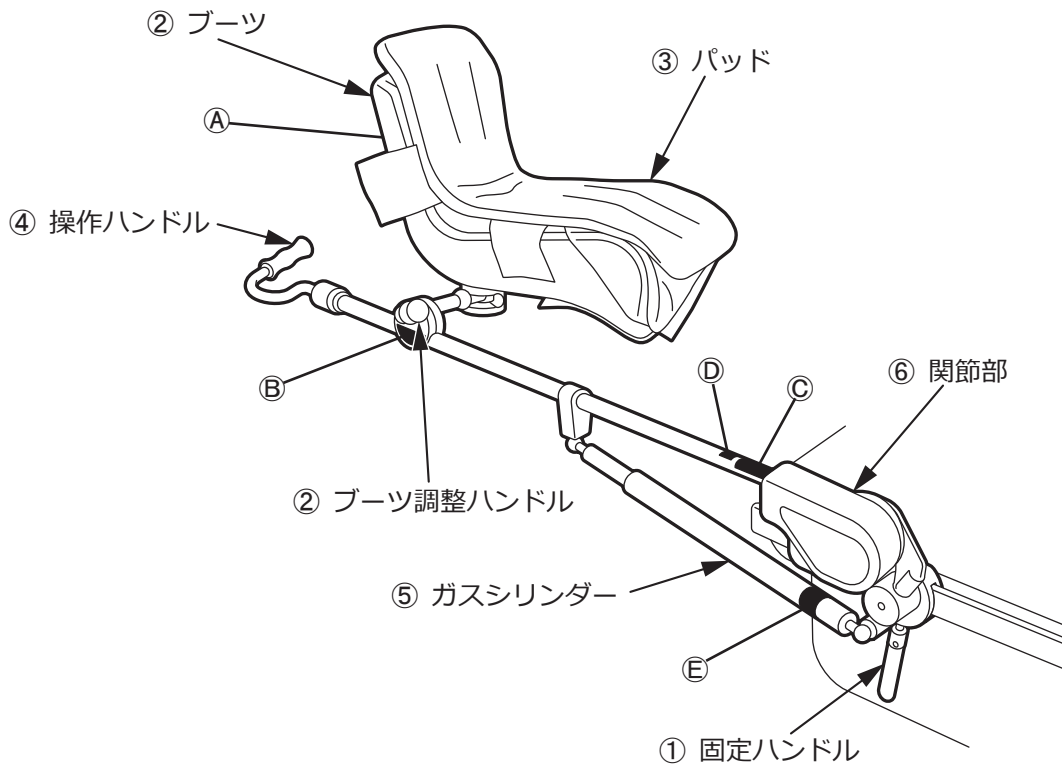
 強制	<ul style="list-style-type: none"> ● 締結部の固定は必ず確認してください。ゆるんだ状態では機器が動いて、患者に障害が起きるおそれがあります。
 強制	<ul style="list-style-type: none"> ● 許容患者体重（270kg以下）を遵守してください。機器の破損や患者の転落等のおそれがあります。
 強制	<ul style="list-style-type: none"> ● 取り付けまたは取り外しを行うときは、必ずブーツ（脚支持部）を持った状態で固定ハンドルを回してください。ブーツ（脚支持部）を持たずに回すと、本品が落下して怪我または破損するおそれがあります。
 強制	<ul style="list-style-type: none"> ● 清潔保持のため、医療関係者がレビテーターのハンドルを操作する際は、触れる部分には必ず滅菌済ドレープを使用してから操作してください。

注意

 強制	<ul style="list-style-type: none"> ● 手術台を作動するときは、他のアクセサリや手術台のテーブルトップとの接触・干渉に注意してください。
 強制	<ul style="list-style-type: none"> ● 分離式手術台での使用では、分離／装着時には必ずレビテーターを取り外してください。取り付けた状態では分離／装着ができません。
 強制	<ul style="list-style-type: none"> ● 衛生のため、患者がレビテーターと直接触れる部分（パッド等）には、必ず滅菌済ドレープを使用してください。

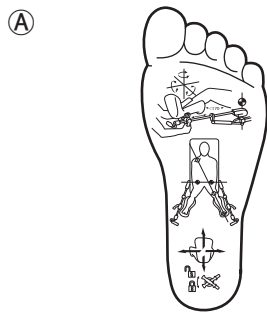
2. 各部の名称とラベル

2-1 各部の名称

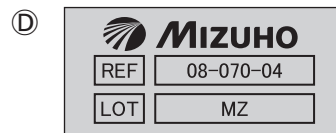


図は左足用

2-2 ラベル



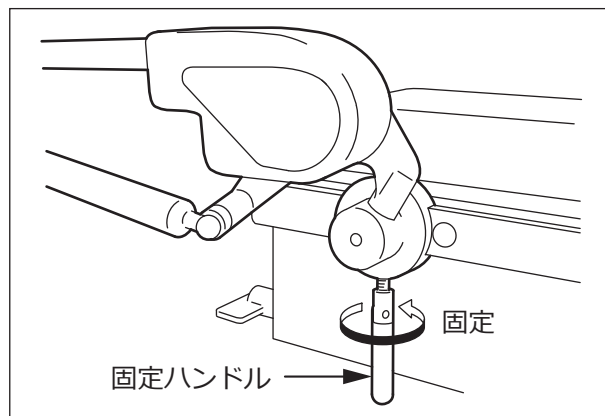
③ 必ず脚支持部を持ってハンドルを回してください。落下して怪我または破損の原因となります。
C630003B



⑤ **警告**
隙間に手を入れないこと。けがをすることがあります。
C655712A

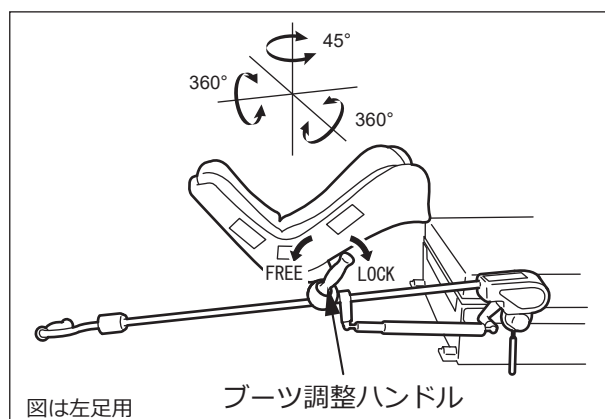
① 固定ハンドル

レビテーターを手術台のサイドレールに固定します。



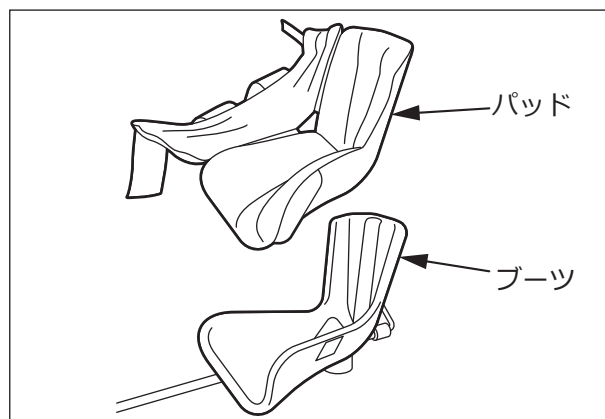
② ブーツ調整ハンドル/ブーツ

ブーツの位置を調整します。



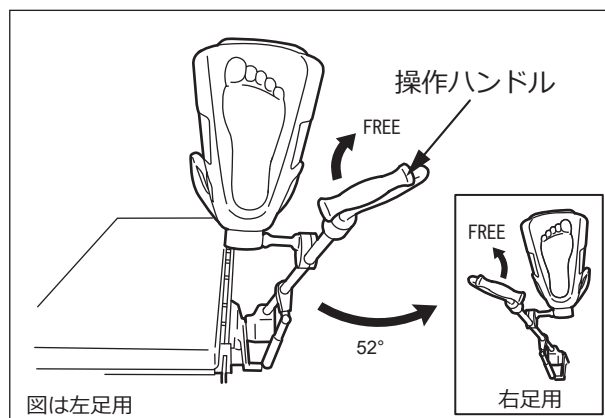
③ パッド

患者の足部・踵部・ふくらはぎ下部を包み込みます。



④ 操作ハンドル

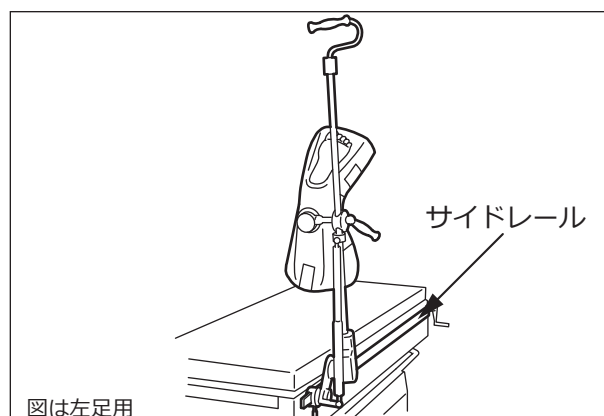
高さと外旋角度を調整します。
操作ハンドルは手を離すと同時にロックされます。



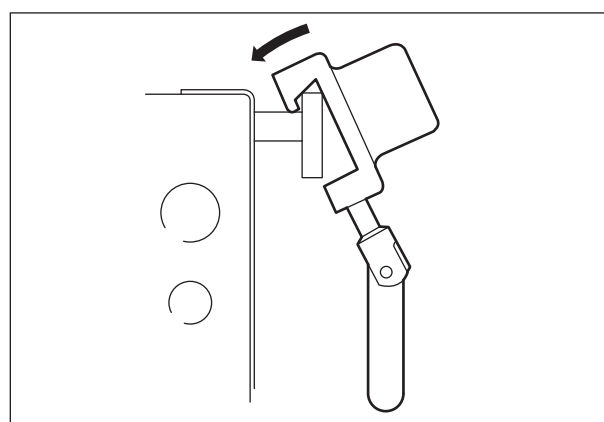
3. 操作方法

3-1 手術台に取り付ける

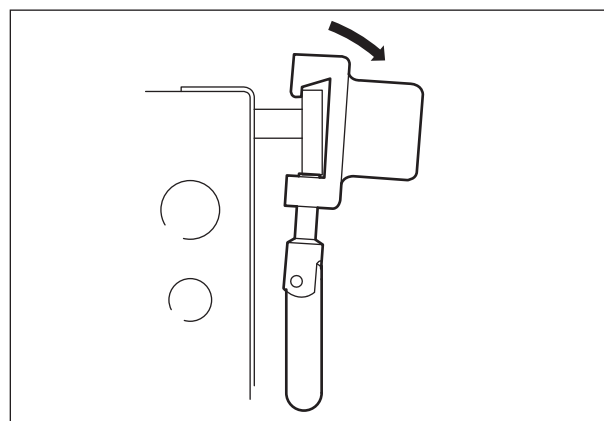
1. レビテーターを手術台のサイドレールに取り付けます。



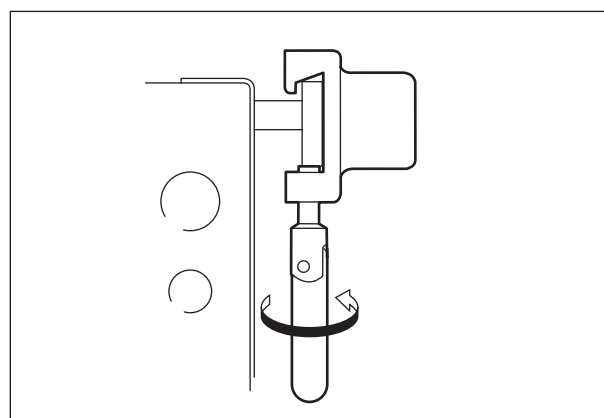
- ① 斜めにしてサイドレールに引っかけます。



- ② 引っかかっていることを確認します。



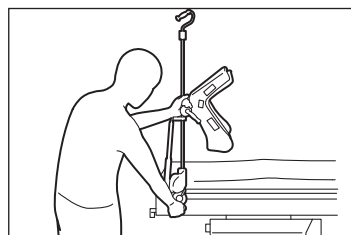
- ③ 固定ハンドルを締めます。
確実に固定されていることを目視や動作確認にてチェックしてください。



警告

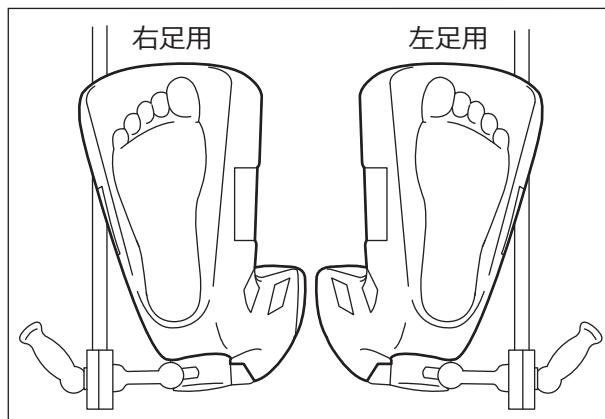


- レビテーターの取り付けを行うときは、必ずブーツ（脚支持部）を持った状態で固定ハンドルを回してください。ブーツ（脚支持部）を持たずに回すと、レビテーターが落下して怪我または破損するおそれがあります。

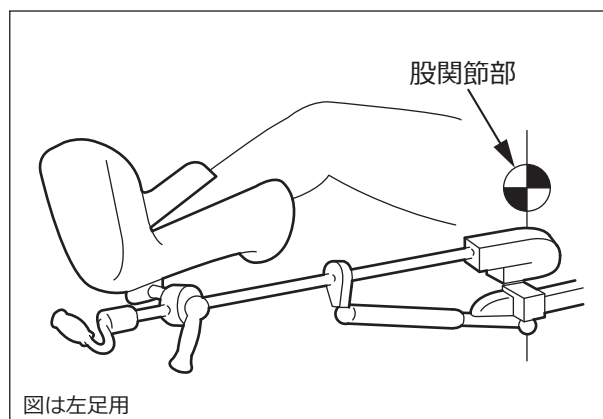


補足

- ブーツは患者を基準にして、右足用・左足用があります。



2. 患者の股関節部が図の位置になるようにして、固定ハンドルを締めます。



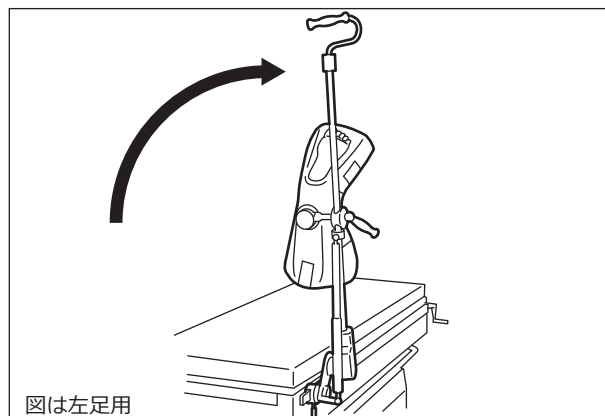
警告



- 固定ハンドルは確実に締めてください。ゆるんだ状態ではレビテーターが動いて、患者に障害が起きるおそれがあります。

3-2 手術台から取り外す

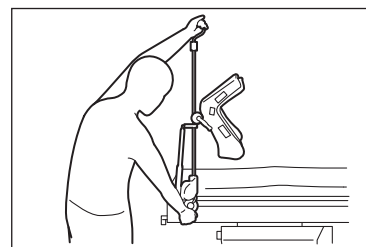
- レビテーターを垂直に持ち上げます。



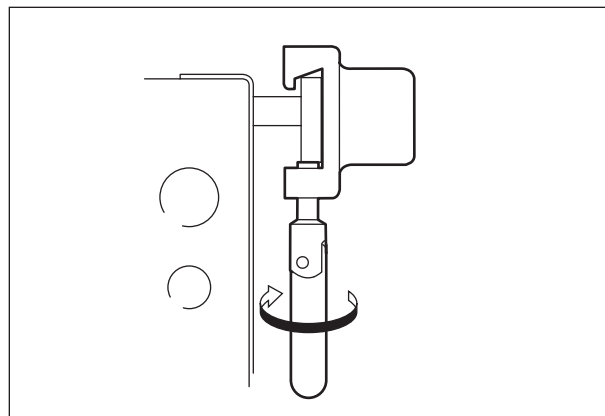
⚠ 注意



- レビテーターの取り外しを行うときは、図のように必ず垂直に持ち上げてください。



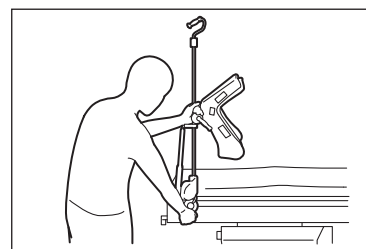
- 固定ハンドルをゆるめて取り外します。



⚠ 警告



- レビテーターの取り外しを行うときは、必ずブーツ（脚支持部）を持った状態で固定ハンドルを回してください。ブーツ（脚支持部）を持たずに回すと、レビテーターが落下して怪我または破損するおそれがあります。

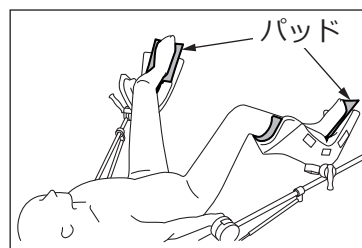


3-3 患者の脚をセッティングする

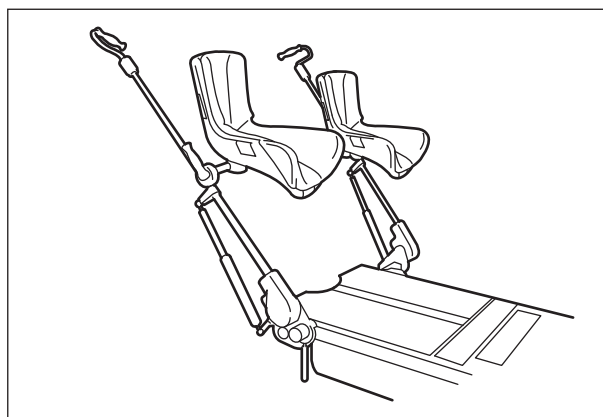
警告



- 患者の脚を圧迫することにより発生する血行障害や知覚障害を防止するために、パッドを使用してください。



1. 脚支持部を同じ長さおよび高さにして、患者の足をブーツに入れます。

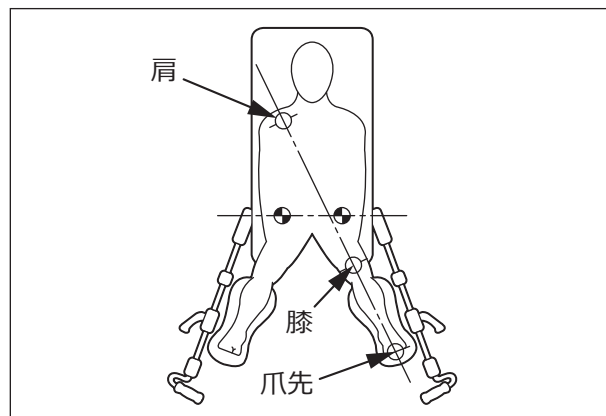


警告



- 両脚支持部は左右対称に設定してください。
片方がずれていると患者の股関節部に障害が起きるおそれがあります。

2. 右図のように、爪先・膝・反対側の肩が一直線になるようにブーツを調整します。



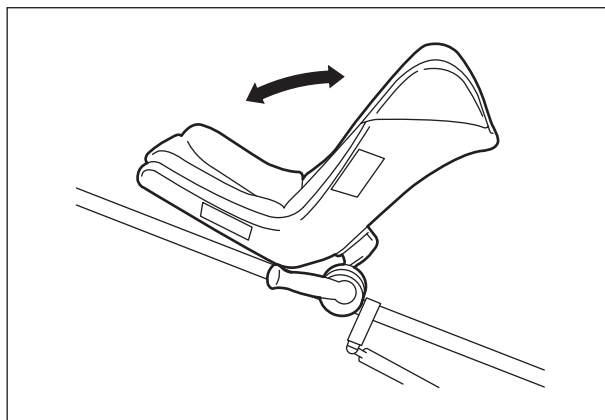
警告



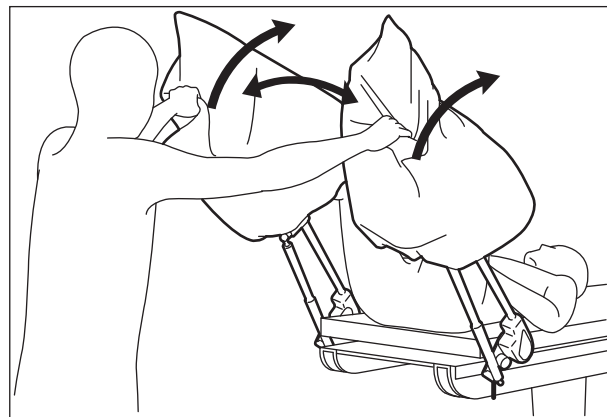
- ブーツの角度を変えると脚とブーツの接触部の圧も変わるため、ブーツの調整は必ずブーツを持った状態でブーツ調整ハンドルを操作してください。ブーツが急に動いて、患者に障害が起きるおそれがあります。

補 足

- 患者の腓への障害を防ぐために、ブーツ調整ハンドルをロックした状態でも、矢印方向にブーツは動きます。



3. 高さとお脚角度を調整します。



警告

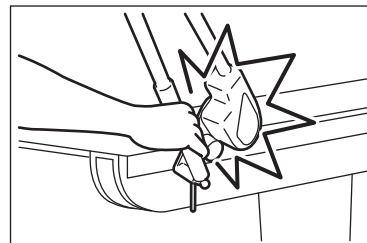


- お脚角度を広くすると下腿側部に強い圧がかかることがあるため、高さとお脚角度の調節はゆっくりと行ってください。急に動かすと患者に障害が起きるおそれがあります。

注意



- レビテーターを持ち上げる時は、図示の位置に手指などの挟み込みに注意してください。健康被害を発生するおそれがあります。
- 手術台を作動する時は、レビテーターとテーブルトップとの接触に注意してください。



- 分離式手術台での使用では、分離／装着時には必ずレビテーターを取り外してください。取り付けた状態では分離／装着ができません。

3-4 手術前・手術中の確認

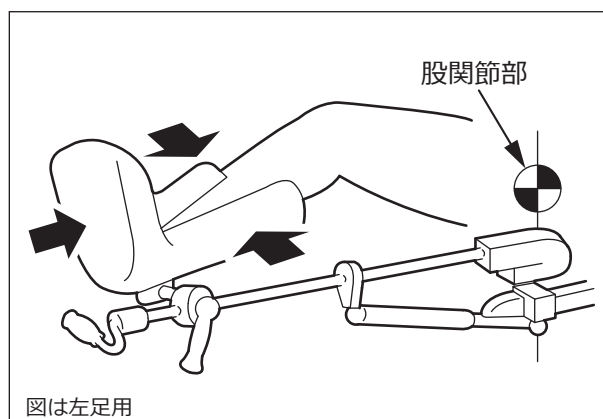
⚠ 警告



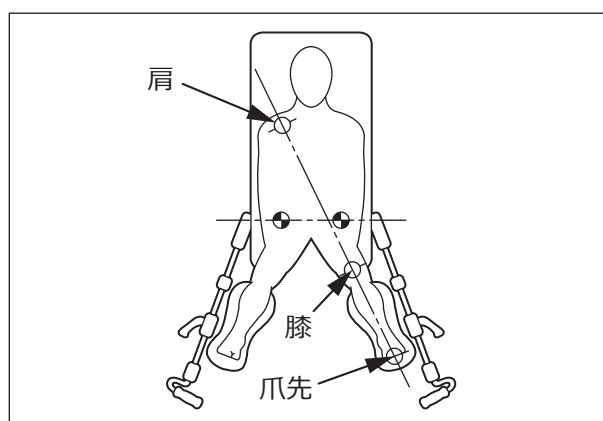
- 血流障害の防止のため、患者の筋肉または神経に無理な力がかかっていないか、必ず手術前および手術中に確認してください。
- 使用中は、足背動脈触知・皮膚色・冷感の有無により、血流障害がないことを確認してください。

ブーツ部分と脚の間に手を入れたり目視によって、以下のことを確認してください。

- ① 脚とブーツ内面が強く当たっている部分はないか。



- ② 生理学上無理のない体位になっているか。



 **警告**



- 両脚支持部は左右対称に設定してください。片方がずれていると患者の股関節部に障害が起きるおそれがあります。

- ブーツの角度を変えると脚とブーツの接触部の圧も変わるため、ブーツの調整は必ずブーツを持った状態でブーツ調整ハンドルを操作してください。ブーツが急に動いて、患者に障害が起きるおそれがあります。

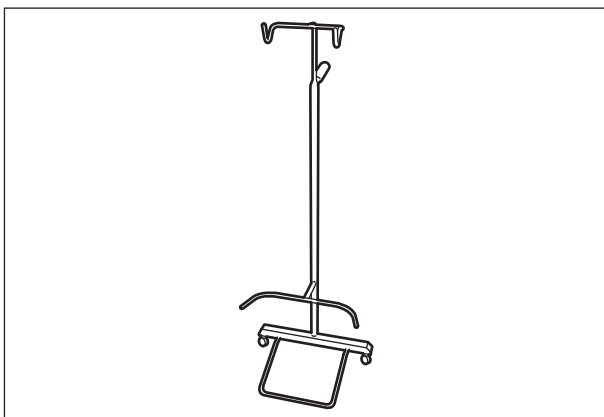
- 開脚角度を広くすると下腿側部に強い圧がかかることがあるため、高さの開脚角度の調整はゆっくりと行ってください。急に動かすと患者に障害が起きるおそれがあります。

- 可動部で腓骨神経を圧迫しないように固定してください。下腿の外旋などで腓骨神経障害が起きるおそれがあります。

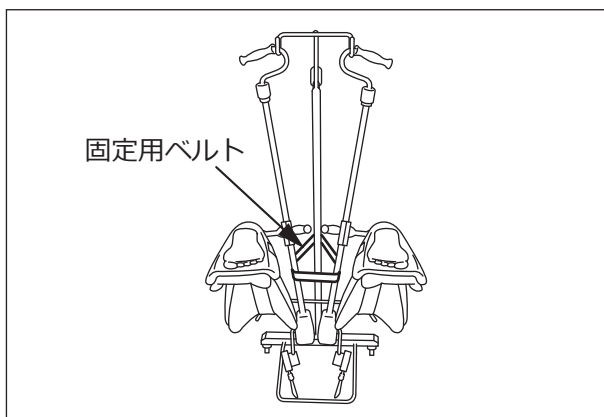
- 手術中、下記の状態では必ず上記の 4項目を確認してください。長時間の手術では、特に圧迫によるコンパートメント症候群や伸展が原因による神経障害・神経麻痺および褥瘡が起きるおそれがあります。
 1. 患者の脚をセッティングし直す場合
 2. 手術が長時間になる場合
 3. 支柱を拳上した場合

3-5 レビテーターカート (オプション)

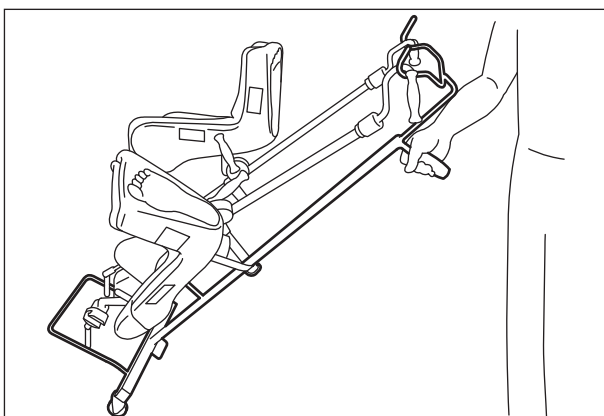
オプションのレビテーターカートは、収納・運搬に利用します。



収納



運搬



4. 保守と点検

4-1 使用前・使用後の点検

- ① 固定ハンドルは確実に固定できるか。
- ② ブーツ調整ハンドルはLOCK/FREEを確実にできるか。
- ③ ブーツは調整ができるか。
- ④ 操作ハンドルはLOCK/FREE、および高さとお脚角度の調整を確実にできるか。
- ⑤ レビテーター全体に破損部分はないか。





点検後異常があれば、ご購入店または弊社まで修理を依頼してください。

4-2 清掃・消毒

血液・薬剤・汚物等の汚れは水で拭き取り、さらに消毒用アルコール・ガーゼで清拭します。

4-3 アフターサービス

修理などアフターサービスについてのご不明な点は、ご購入店または弊社にご相談ください。

 警告	
	清掃・消毒 <ul style="list-style-type: none">● 使用する消毒剤の表示や取扱説明書に従ってください。
	調整・交換・修理 <ul style="list-style-type: none">● 調整・交換・修理は専門知識が必要です。調整・交換・修理が必要なときは、必ずご購入店または弊社へ依頼してください。 専門知識のない者が調整・交換・修理を行うと、故障を誘発するばかりか怪我の原因にもなります。
	故障時の対応 <ul style="list-style-type: none">● 故障したレビテーターは不用意に使用されないように、「故障」または「使用禁止」の表示をしてください。

4-4 保証について

本品は納品／設置してから 1年間を保証期間として無償修理いたします。但し第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は弊社規定に依ります。

4-5 廃棄について

本品を廃棄する際は、関係する法律または地方自治体の条例に基づいて適切に処置してください。

5. 仕 様

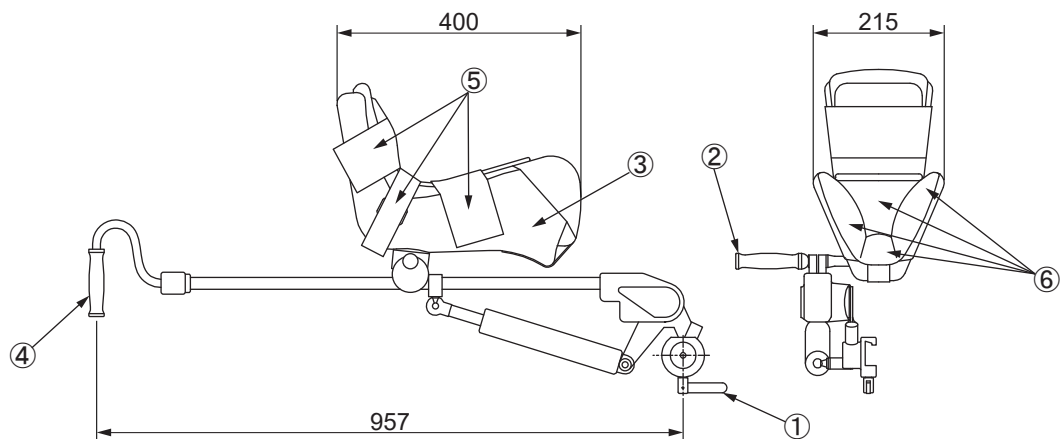
5-1 仕様表

販売名		レビテーター	
分 類	製造販売届出番号	13B1X00306N10048	
	類別	機械器具 (01) 手術台及び治療台	
	一般的名称・JMDNコード	手術台アクセサリ 70469000	
	クラス分類	一般医療機器	
機 能	脚支持部角度	上げ	85° : 水平位を基準とした場合
		下げ	40° : 水平位を基準とした場合
		外旋	52° : 水平位を基準とした場合
	ブーツ可動範囲	回旋方向	360° : 水平位を基準とした場合
		上下方向	360° : 水平位を基準とした場合
		内外旋方向	45° : 水平位を基準とした場合
ブーツスライド量	350 mm		
質 量	レビテーター	6 kg/台	
	レビテーターカート	3 kg	
許容患者体重		270 kg 以下	
保 管 方 法	周囲温度範囲	10 °C ~ 40 °C	
	相対湿度範囲	30 % ~ 75 %	
	気圧範囲	700 hPa ~ 1060 hPa	
	耐用期間	5 年〔自己認証による〕: 注	

注：適正な保守点検および適切な保管をした場合。

耐用期間であっても、使用状況または使用頻度により、突発的な故障、部品の著しい消耗・劣化・破損等を生じた場合は該当部品の交換が必要です。

5-2 外観図



図は左足用

単位：mm

- | | |
|------------------|--------------------|
| ① レビテーター共用折れハンドル | ④ 操作ハンドル |
| ② ブーツ調整ハンドル | ⑤ レビテーター用ストラップ |
| ③ ブーツ | ⑥ レビテーター用一体型パッド左・右 |

ミズホ株式会社

<https://www.mizuho.co.jp>

■ **本社** 〒113-0033 東京都文京区本郷3-30-13
販売事業部 TEL 03-3815-3097 FAX 03-3813-5068

■ 営業拠点

- 北海道センター 〒060-0807 札幌市北区北7条西2-6 37山京ビル2F
TEL 011-716-4731 FAX 011-716-4803
- 東北センター 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-2 SK仙台ビル2F
TEL 022-227-1688 FAX 022-227-1698
- 新潟センター 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通七番町1230-7 ストークビル鏡橋6F
TEL 025-229-5458 FAX 025-222-4684
- 北関東センター 〒113-0033 東京都文京区本郷3-30-13
TEL 03-3815-3193 FAX 03-3815-1280
- 東海センター 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-17-4 スズシン第2ビル3F
TEL 052-732-7130 FAX 052-732-7131
- 関西センター 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-10-24 三共本町ビル7F
TEL 06-6444-3840 FAX 06-6444-3860
- 中国センター 〒730-0029 広島市中区三川町7-7 三川町パーキングビル13F
TEL 082-241-8826 FAX 082-241-8836
- 九州センター 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-1-1 ノーリツビル福岡5F
TEL 092-431-5022 FAX 092-474-4483

■ 関東圏 販売網（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）

ミズホアーバン株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-29-3
TEL 03-3811-0350 FAX 03-3811-1880

■ アフターサービスカスタマーセンター 〒285-0808 千葉県佐倉市太田2173-13

訪問修理受付 TEL 043-481-3367 FAX 043-481-3374
預り修理受付 TEL 043-481-3368 FAX 043-481-3375

■ ミズホショールーム 〒285-0808 千葉県佐倉市太田2173-13

○ お問い合わせは営業担当までお願い致します。

■ 工場

千葉工場 〒285-0808 千葉県佐倉市太田2173-13
五泉工場 〒959-1821 新潟県五泉市赤海3631-14